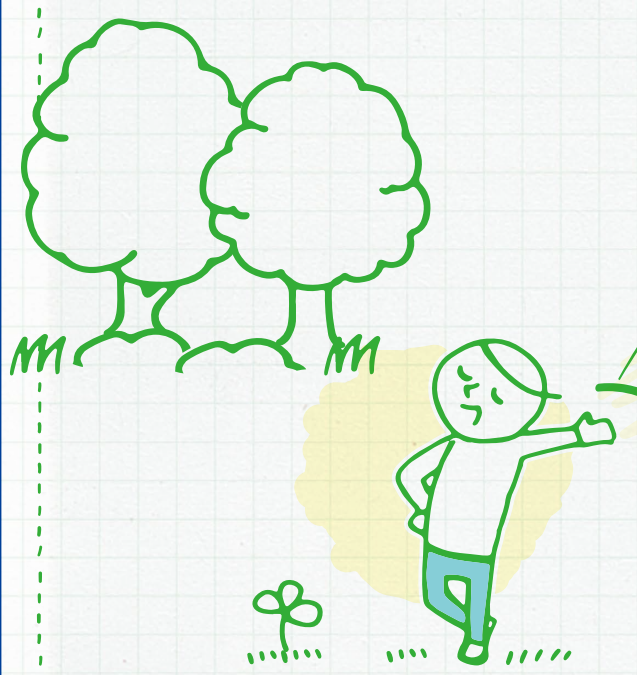


市大ニュース

市大には、恵まれた学習環境の中、ユニークな研究をしている教員がいたり、市大ならではの特別授業が行われたりするなど、魅力的な「学び」に溢れています。ここでは、市大のさまざまな魅力を、豆知識も織り交ぜながら「ロコミ風」に紹介します。



〈表紙作品〉(上)
2014年度 芸術学部美術学科 卒業
杉浦 沙恵子
「為れないということを知っている・成りたいと思う」(日本画)
(227.2×181.8cm、装丁サイズ:237.2×191.8cm)
2014年度 卒業制作
卒業制作優秀作品、芸術資料館賞上作品

〈表紙作品〉(下)
2014年度 芸術学研究科(博士前期課程)
造形芸術専攻 修了
佐藤 藤生
「逡電」(油絵)
(1818×2273mm)
2014年度 修了制作
修了制作優秀作品、芸術資料館賞上作品

3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

丁寧に
一人ひとりを大事に
社会との関わりの中で
学生を育てます

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
TEL:082-830-1500(代) FAX:082-830-1656
<http://www.hiroshima-cu.ac.jp>

「いちだい知のトライアスロン」(※)で、初めて「知の鉄人」が誕生したんだって。

(※) 読書や映画・芸術鑑賞を通して「知る」「考える」「伝える」力を養う学生向けプログラムです。

カフェっぽい図書館!

市大の図書館がリニューアルして、おしゃれな感じになったらしい。学生によると、「読書したくなる」とか「カフェで勉強する感じ」だとか。図書館なのに、みんなで話せる「ラーニング commons」っていうスペースもあるんだって。

*ラーニング commons内では、ペットボトルなどのフタ付きの飲み物に限り持ち込みができます。



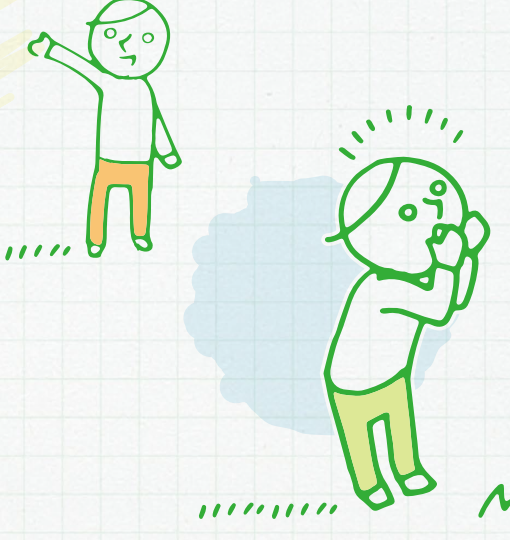
世界的に活躍するアーティストが大学前の歩道橋にデザイン

芸術学部の卒業生にSUIKOさんっていうグラフィティアーティストがいて、その人がデザインしたんだって。横川シネマに壁画も描いたらしいよ。

*「活躍する市大生」(pp.4-5)で特集しています。



市大の芸術学部・安佐動物公園・アストラムラインでコラボするらしいよ。



市大関係者が知られざる「大量被ばく」の実態をスクープ!

国際学部OBで、今はNHK広島でディレクターをしている花井利彦さんが、平和研の先生の協力を得て、1954年、太平洋ビキニ環礁で行われた水爆実験によって、日本人漁船員の大量被ばくが起きていながら、日米両政府がこの「不都合な真実」を隠していたことをスクープしたらしい。歴史の教科書の記述が変わるかも?!



NHKスペシャル
水爆実験 60年目の真実
〜ヒロシマが語る「隠された被ばく」〜
(2014年8月6日放送)

まるで映画館?! すごい音響設備のアートシアター

学生の制作した作品の試写を目的としたプレビューールームとして設計。本格的な7.1chサラウンドシステムの音響装置を設置。防音設計により、どんな大音量でもほとんど外には漏れない二重防音設計構造。



広島県科学オリンピック開催事業に市大が協力したんだって。

「ひつじのショーン」のアニメーターが市大でレクチャーしたんだって。

情報科学部の先生で「変な人」(※)に選ばれた人が市大にいらしい。HKT48のメンバーと記者発表もしたとか!

(※) 総務省「異能ベージュプログラム」の通称

カーブと市大、いろいろ連携

市大はカーブと連携していて、ドミニカにあるカーブアカデミーでのインターンシップに行くチャンスがあるんだって。あと、毎年8月6日には、マツダスタジアムで平和へのメッセージを市大の学生たちが発信してららしいよ。



広島東洋カーブ野球アカデミー
企業インターンシップ活動 報告会
(2015年2月3日)

WB.

No.65 west breeze
2015-01



Illustration by Ukida Mayu

